

有峰だいきき会通信 2019 Vol.1

発行日 2019年6月1日
発行 有峰だいきき会

有峰だいきき会通信

2019
Vol.1

村仕事の集い 7月20~21日

愛着の森調査編 9月1日

「有峰だいきき会」とは、

有峰が大好きな人の集まりです。
有峰を好きな人が、ちよつとずつでいいから、
顔をつきあわせて増えていったらなあと思っています。
とりわけ、子供たちに。
もちろん、有峰の静けさ、気高さを失うようなことは、まっぴらな会です。
来る人こそばます。

「有峰だいきき会」へ入りたい方は事務局 中川までご連絡ください。

☎ → 090-2035-0214



第11回 有峰村民 緑の仕事の集い

2019年7月20日(sat)～21日(sun)

場所 有峰 冷タ谷キャンプ場



今年の仕事は、草刈り機での草刈り、薪づくり、燻製づくりです。老若男女みんな一緒に仕事します。仕事の後は、森や川で遊んで、夜は焚火コンサートします。

富山福祉短期大学で
幼児教育を学ぶ学生達が
キャンプ活動を
サポートしてくれまます。

日程



7月20日(土)

午前はみんな仕事、午後は西谷の川で遊びます。冷タ谷キャンプ場で泊まります。

7月21日(日)

11時ごろ解散です。



集合

8時30分

立山あるべん村に集合し、乗り合わせて有峰に行きます。鉄道利用の方は地鉄駅「岩峰寺駅」に車で迎えに行きます。

参加費

領収済み林道通行券と引き換えに、林道通行券を1枚お返しします。

- 23歳以上...2,500円
- 18歳から22歳...1,500円
※ただし高校生を除く
- 小学生から高校生まで...500円
- 未就学児...300円

お申し込み



氏名、性別、年齢(18歳までの人は学年も)、住所、代表者携帯番号、交通手段(車の場合は乗り合わせ可能人数も)をご連絡ください。

応募はメールか電話でお願いします。

☞→ sunnyhardip@yahoo.co.jp
☞→ 090-2035-0214

「有峰だいき会」事務局 中川まで
締切り 2019年7月5日(金)

定員

60名

定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。

主催：有峰だいき会
共催：富山森のこども園



富山福祉短期大学サークル 野遊び大好き会
森林サポーター 一例会
公益社団法人 富山県農林水産公社

第16回 愛着の森 2019年 9/1回

「木を測り続けよう森を知る編」

有峰の3つの森(ヤマハンノキ林 トチノキ林 カラマツ林)で、1年に1箇所ずつ樹木調査をしています。今年はカラマツ林を調査します。あがりこの森へも行きます。木を測って森の大きさを感じてみませんか。

アドバイザー

日程

※雨天時変更あり

9:30

有峰ビジターセンターに集合
(乗合せ希望の方は、8:40に立山あるべん村集合)

オリエンテーション

冷タ谷のカラマツ林へ出発

カラマツ林調査

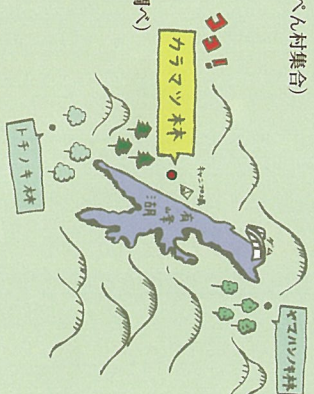
(幹の太さ調べ、林床植生調査、昆虫調べ)

調査終了後、あがりこの森

(昼食、音楽会、森のお話など)

15:00 解散

まで



一般社団法人 TOGA 森の大学校 校長
長谷川 幹夫氏

申込方法

氏名、性別、年齢、住所、代表者携帯番号、集合場所(あるべん村orビジターセンター)、(可能な方は)乗合わせ可能人数を、電話、FAXまたはE-メールでお申し込みください。

参加費 無料

現地でも、領収済み林道通行券と引き換えに、次回使える林道通行券を1枚お渡しします。

定員

20名

●メール→ info@arimine.net
●TEL/FAX → 076-481-1758
有峰ビジターセンターまで

申込締切 2019年8月24日

主催：有峰だいき会・公益社団法人 富山県農林水産公社



あなたも、本当は、 自然型・可燃型ならではの

今年も、有峰だいききは、有峰村民村仕事の集いと、愛着の森「木を測り続けて森を知る編」を開催します。みなさんの参加を心からお待ち申し上げます。

さて、山田大介（みずほフアンショナルグループ専務執行役員）という方が、取材を受けてこのようなことをおっしゃっていることが、インターネットで検索すると出てきます。

—— ビジネスパーソンってというのは、だいたい4通りに分けられると言われますよね。ひとつは「自然型」。黙っておいても自分で燃えてくれる。次が「可燃型」。火をつけられれば燃える。次の「不燃型」はいくら火をつけても燃えてくれない。さらに「消火型」ってというのは、火をつけているのを消してしまう。銀行って

というのは、どっちかっていうと石橋をたたくても揺らない、不燃型が多いと一般的に言われています。それから「リスクがあるから」って言って、寄ってたかって火を消す消火型も。これからの時代、不燃型と消火型が多い会社ってというのは、なかなかうまくいきづらい。せめて可燃型、できれば自然型がもっといてほしい。——

面白い視点です。確かに、身の回りを見渡すと、不燃型・消火型の人が多いなあと思います。反対に、有峰だいきき会に集まる人たちは、みんな自然型・可燃型の人です。しかし、人間だれでも、自然型・可燃型・不燃型・消火型の要素は、各自の中にほどほどに配合されているものと思われれます。それをうまく引き出し、コントロールできるかどうか、職場・地域・学校・家庭などの運営の分かれ目なのだと思います。有峰から帰って、お家に戻り・学校

に戻
が高
思い
自
子と
そ
自分
な時
言っ
こと
得が
しよ
そ
有峰
感謝

